**（様式1）**

小論文

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　名 |  |
| 所　属 | 研究科 　専攻 |
| 指導教員 |  |
| 研究題目 |  |
| 研究キーワード（5個程度） |  |

※申請段階で決まっていない場合には、予定者名あるいは想定している研究科名等を必ず記入のこと。

　　次ページ以降に、下記の要項に従って、小論文を書いてください。

* フォーマットは添付のフォーマットを使用ください。
* 専門外の人に向けてわかりやすく説明してください。
* 説明には補足的に図・表・グラフなどを使用しても良い。ただし添付フォーマット（4ページ）以内とします（本ページを含めると5ページ以内）。英語の場合は、最大3000 ワードとします。本文内に業績などを記載する場合は、氏名は記載せず、「申請者」と記してください。
* 各設問の最後括弧内に文字数を記載してください。
* 小論文のテーマは以下の内容で記載ください。

1. 自身の研究について、研究目的、研究方法、研究内容、研究の特色・独創性（先行研究等との比較、研究完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）を簡潔、かつ、わかりやすく記述してください。そのうえで、学位を取得するまでに、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記述してください。令和6年度(2024年度)日本学術振興会特別研究員に応募した者は、補足資料としてその申請書を本小論文とは別に添付しても良いものとします。
2. 自身の研究が、(1)社会課題の解決、(2)先導的研究領域の創生、(3)未来社会の創出　のいずれか、もしくは複数とどのように結びつくと考えているのか、具体的に記述してください。
3. 自身の研究分野以外のどのような分野に関心があるか、またそれを自身の研究にどのように取り入れようとしているかを記述してください。
4. 本事業において、自身がどのようなトランスファラブルスキル（※）を身に着けようと考えているか、また、その理由と方法について記述してください。

（※本事業におけるトランスファラブルスキル：　イノベーション人材に必要とされる、独創性や自由な発想、チャレンジ精神、研究ニーズ発掘力、研究マネジメント能力、データ分析力、プレゼンテーション力および人を惹きつけるリーダーシップ等の広く転用・応用可能なスキル）

5) 博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考えと、社会でどのように活躍・貢献したいかについて記述してください。

【小論文】

(1)-1　自身の研究について、研究目的、研究方法、研究内容、研究の特色・独創性（先行研究等との比較、研究完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）を簡潔、かつ、わかりやすく記述してください。（1800文字程度）図表を用いる場合は、第5ページにまとめてください。

（文字数）

(1)-2　学位を取得するまでに、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記述してください。（800文字程度）

（文字数）

(2) 自身の研究が、(1)社会課題の解決、(2)先導的研究領域の創生、(3)未来社会の創出　のいずれか、もしくは複数とどのように結びつくと考えているのか、具体的に記述してください。（800文字程度）

（文字数）

(3) 自身の研究分野以外のどのような分野に関心があるか、またそれを自身の研究にどのように取り入れようとしているかを記述してください。（500字程度）

（文字数）

(4) 本事業において、自身がどのようなトランスファラブルスキル（※）を身に着けようと考えているか、また、その理由と方法について記述してください。（500文字程度）

（文字数）

(5) 博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考えと、社会でどのように活躍・貢献したいかについて記述してください。 （500文字程度）

（文字数）

図表を用いる場合は、このページに貼り付けてください。図表番号やキャプションを付して、申請中の引用箇所が明らかになるようにしてください。